

## 令和7年度第1回 富秋中学校区等まちづくり検討会議 議事概要

1. 日 時：令和7年5月29日（木）19：00～

2. 場所：和泉市 人権文化センター1階 大会議室

3. 出席者：委員 21人  
和泉市職員 18人  
コンサルタント 2人

### 4. 議事次第

#### （1）議題案件

- ①検討会議委員・役員交代について
- ②まちづくり検討会議のスケジュールについて
- ③富秋中学校区等跡地活用ビジョン策定に向けた対話内容の確認について

#### （2）その他

#### （3）閉会

### 5. 議事概要

※以下、特記無き場合委員の発言

#### ■開会のあいさつ

- 会長あいさつ
- 出席者の自己紹介

#### ■検討会議委員・役員交代について

##### ○森事務局長から説明（資料1）

- ・委員の変更、PTAの役職変更、開校準備委員会に検討会議から選出される委員は、昨年度と同じ5名であることについて異議なし。

#### ■まちづくり検討会議のスケジュールについて

##### ○市から説明（資料2）

- ・（事務局長）年3回ということだが、市と協議しながら検討会議の開催が必要ということであれば、またお知らせする。

## ■富秋中学校区等跡地活用ビジョン策定に向けた対話内容の確認について

○市から説明（資料3、資料4）

- ・キーワードとして「人権」、「人権尊重」を連想させるキーワードを入れてはどうかと思う。
- ・（事務局長）コンセプトなので、内容は概念的なものになると思うが、そういったイメージの言葉を入れてはどうかという意見である。すぐにコンセプトのキーワードについて意見が出るわけではないと思うので、各委員が所属する組織の会合などで、意見を求めてほしい。10月の検討会議までに決めたいとのことなので、7月中旬に事務局に伝えてもらえるとうありがたい。集約し、役員を中心に調整する。

⇒（市）市からコンセプト設定の考え方を説明したが、富秋中学校区等全体整備のコンセプトはまちづくり構想で既に作成されている。今回は、跡地活用のコンセプトを策定したいので、「施設配置の基本的な考え方」で示している内容をご覧いただき、キーワードを考えていただければと思う。

- ・（事務局長）検討会議案が出て、最終的には市長に決定権があるということは、ご了承いただきたい。跡地活用ビジョンに関する意見は他にないか。

（意見無し）

## ■その他

開校準備委員会の報告

○市から説明（資料5）

- ・学校西側の道路の防犯について、町会で防犯カメラの設置を申請している。また、あの通りは防犯灯が付いているものの、住宅側にしか付いておらず、暗い。学校側からは光が通らない。電気代の都合で町会のライトを使用していると聞いたことがある。かなり暗く、変質者も過去に出ているため、防犯灯の設置と防犯カメラの設置を町会で要望しているので、お願いしたい。
- ・富秋中学校が建設された際に植えた樹木が大きく成長し、通行の妨げになっている。新しい学校では、樹木は学校の校舎側に植えるなど、20年後の見通しを立てた上で植えてほしい。
- ・グラウンドの東側と西側では、1.5m程度の高低差があり、競技（綱引き等）で有利不利が発生するほか、雨が降った際に必ず西側の溝に土砂が溜まる。このような問題があることを知った上で、解消できるのであれば、実施してほしい。

⇒（市）防犯カメラ・防犯灯については、既に危機管理課と協議しているので継続協議する。また、樹木の位置については現状把握しているので、整備に際して樹木の成長を見越し樹木が敷地外に出ないように十分配慮するとともに、グラウンドの勾配についても施工業者と協議させていただく。

## ○まちづくりに対する意見

- 今まで、ほぼ全ての検討会議に参加しているが、まちづくり構想を策定して以降は、検討会議の開催が減ったと感じている。話す議題がないということだと思うが、事後報告が多くなっていると感じることが多い。まちがより良くなるのであれば良いが、自分たちが地域の話聞き、代表者として作った地域案・まちづくり構想は、地域の人も見て期待している。それが本当に実現するのか、違うものが出来たり違う方向性になっていたり、事業者が構想を知らないという状況にはしないでほしい。まちづくり構想は、素敵なことを語っているが、労力・コストはかなりかかる。価格面で和泉市にとって都合の良い業者を選んでしまうと、構想を実現できないのではないかと危惧している。まちづくりに関わってもらえるような事業者を選定してほしい。
- まちづくり構想はこれまで何年もかけて進めてきたもので、昨年市営住宅等の集約建替事業のスケジュールが1年遅れることとなったときも地域の方から色々と意見があったが、1年後に目に見える形で事業が進めば、地域の方も変化を実感すると思う。複数事業者が参加しているか分からないが、仮に価格が低い事業者が居たとしても、提案が非常に良い事業者がいれば選ばれるようにしてほしい。整備事業が完了しても、住民は住み続けるということも理解した上で、審査をしてほしい。いずれ地域が行うことにはなると思うが、住民は住む場所が変わるのだから「市営住宅を整備して終わり」ではなく、「コミュニティ形成」まで選定された事業者に協力してほしい。建物が綺麗になっても地域が活性化しなければいけないので、そういう意味でも、金額ではなく提案を重視してほしい。
- (事務局長) 検討会議としては、「市から選定委員に地域の思いを伝えてほしい」とこれまでも言ってきた。本日の意見も含めて、検討会議としての意見を市から選定委員に伝えてもらいたい。7年間続いたことで検討会議委員は重責を担っている。事業者が伴走し、色んな意味で支援してくれるような事業者の選定をお願いしたい。

## ■閉会

以上